

令和4年度 第2回スポーツ推進審議会 議事要旨

| | |
|-------|---|
| 日 時 | 令和4年10月11日(火) 13:30～15:00 |
| 場 所 | 第1委員会室 |
| 参 集 者 | 委 員／中條庸右、齋藤 隆、堀 俊一、齋藤 勉、田中 学、 金子 尚、大滝美樹、穂積 祥 欠 席／角南俊介 酒田市／鈴木教育長、池田教育次長、佐藤教育次長、齋藤課長、 梶原補佐、土門主査兼係長、乙坂係長、兵藤指導主事 |
| 配布資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・令和4年度第2回審議会委員名簿 ・資料1 事業実施状況 ・資料2-1 令和4年度進捗状況 令和5年度予算要求 基本目標1 ・資料2-2 令和4年度進捗状況 令和5年度予算要求 基本目標2 ・資料2-3 令和4年度進捗状況 令和5年度予算要求 基本目標3 ・資料2-4 令和4年度進捗状況 令和5年度予算要求 基本目標4 ・資料3-1 部活動の地域移行_部活動の地域移行(生徒用) ・資料3-2 部活動の地域移行_部活動の地域移行(教師用) ・資料3-3 部活動の地域移行_部活動の地域移行(外部指導者用) ・資料4 酒田市体育施設整備懇談会について |

1. 開 会 (略)

【事務局より会議の成立について報告】

- ・「酒田市スポーツ推進審議会に関する条例」第6条第1項により、審議会は、委員総数の過半数の出席が要件となっている。本日の審議会については、委員総数9名のうち、出席者8名となっており、審議会が成立していることを報告する。

2. あいさつ (教育長)

- ・コロナウイルス感染症が少し落ち着き、全国的には旅割が始まり、今週日曜日には3年ぶりに湊酒田つや姫ハーフマラソン大会が行われる。また、先月にはスポーツボランティア会を設立し、様々なことが進んでいることを嬉しく感じる。
- ・今日は各種事業の進捗状況の報告と中学校運動部活動の地域移行、体育施設整備懇談会の開催状況など、来年度の予算に係るところのご意見をいただきたい。

3. 協議 (進行: 会長)

(1) 令和4年度における各種事業の実施状況について【資料1】

(資料に基づき、事務局説明)

【委員からの質疑・意見等なし】

(2) 令和4年度の事業進捗状況及び令和5年度の予算要求に向けて【資料 2-1 から 2-4】

- I 誰もが楽しめる生涯スポーツについて
- II 感動と活力に満ちた競技スポーツ
- III スポーツによる賑わいとまちづくり
- IV 安全安心なスポーツ活動のための環境整備
(資料に基づき、事務局説明)

I 誰もが楽しめる生涯スポーツについて

【委員からの質疑・意見等概要】

- (委員) スポーツ鬼ごっこについては山形新聞でも取りあげられていて好評だったよう。今後も継続していくと思うが、令和5年度以降のモデル校は変えるのか現在のままいくのか、考えを教えて欲しい。
⇒モデル校についてはまだ決まっていない。同じ小学校でも、学年が変わるので引き続きやりたいという学校もあるだろうし、小学校を変えることもあると思う。また大規模の小学校は、スポーツ鬼ごっこのルール上やりづらいということもあり今後調整をしていく。
- (委員) モデル校の校長と話をしたところすごくありがたいとのこと。授業の導入で大学生が入り、やったことのないような鬼ごっこを行うため、運動に積極的ではない児童も喜んで参加している。今後も継続してほしい。授業の時だけでなく、子どもたちの遊びの中で活用されれば、体力向上につながると思う。できるだけ多くの小学校に導入いただければと思う。
⇒今回初めての取り組みなので、授業の初めに説明はしているが、子ども達が遊びの中でやってもらうのが一番良いと思う。
- (委員) 大学生は何人くらい参加し、また謝金はどのくらい発生しているのか。
⇒大学生は1回の授業で3人参加し、各小学校に3つの部活動を割り振りし協力いただいている。琢成小学校には女子バレー部、浜田小学校には男子バレー部、十坂小学校には女子サッカー部とし、年間各校20回を目標に実施を進めている。授業の合間をみて協力いただいているため、部活動内で上手く回してもらっている。謝金については1回1,200円程度に加えて交通費を大学側で支給している。
- (委員) 大学生の育成ということで、子どもたちと関わりお互いが成長できてよいと思う。またボランティアでは続かないと思うので事業として行うのは良いと思う。さつきラン&ウォークについて企業として、うちもエントリーしたが、アプリの使い方が不明なところもあり、参加できなかったところもあるので次は頑張りたい。
- (委員) 大学の指導者の件だが、できるだけ多く登録してもらい全校で実施できるようになってもらえば良いと思う。大学ができた当初は、地域貢献ということで地区運動会などに参加すると単位がもらえたそうだが、現在は単位が認められなくなった。今後継続していくためには、謝金だけでなく、単位を与える等、協議が必要になってくるのではないかな。
- (委員) 事業の進捗状況について、障がい者のスポーツ活動の推進についての記載がない。それぞれの項目について詳細に記載があっても良いのではないかな。予算要求についての文章が硬い。「です、ます調」の方が良いのではないかな。
- (委員) スポーツ推進委員会主催で第5回のニュースポーツ大会を開催したが、多くの市民の方に参加いただいた(カローリング14チーム、フロアカーリング4チーム)。また来年も行なってほしいとの話があった。スポーツ推進委員会ではカローリング、フロアカーリング、ボッチャ、モルックを指導している。駅前ミライニより講師依頼を受け、図書館に来ている人を対象にボッチャの指導を行っている。指導普及部会が担当しており、全3回中1回が終了している。モルックについては、酒田米菓のモルック部より指導いただき、

各地区に1セットずつ道具を寄贈いただいた。各地域にかなり普及してきたので、来年度の冬季にでもモルック大会を開催したいと考えている。

- (会長) 11月12日(土)に総合文化センターで、青少年指導センターの育成推進委員にモルック指導を行う予定である。

II 感動と活力に満ちた競技スポーツ

【委員からの質疑・意見等概要】

- (委員) 数値目標として国体への出場種目数を挙げているが、国体だけで良いのか。他に検討しても良いのではないか。経済効果はあるのか。
⇒国体のほかに数値化できるものがあるかと考えたが難しいと思う。今後検討していきたい。経済波及効果について、例えば湊酒田つや姫ハーフマラソン大会が開催されるが、参加される方が泊まるのか、日帰りなのかを参加者全員に聞いて抽出することは難しいので、数値を出すとするれば目安のものしか出せないと思う。
- (会長) 先日、日本海旗の剣道大会があったと思うが、宿泊施設は市内で賄えているのか。
- (委員) 県などでも、様々な事業を立ち上げる際に、これだけの経済効果があると提示するのではないか。正確な数値が出なくてもそういう考え方があってもよいのではないか。

III スポーツによる賑わいとまちづくり

【委員からの質疑・意見等概要】

- (委員) スポーツボランティアは現在何名くらいいるのか。スポーツボランティアについて詳しい説明をお願いしたい。
⇒21名の登録をいただいている。当初は酒田市広報で広く呼びかけをし、その後スポーツ推進委員会、体育振興会のOG・OBに別途連絡し案内をした。40代から幅広い年齢層より登録いただいている。
- (委員) 活動内容についても教えていただきたい。
⇒酒田市の市民体育祭、湊酒田つや姫ハーフマラソン大会はもちろん、アランマーレ山形のホームゲームやモンテディオ山形などのプロスポーツまで幅広く活動していきたいと考えている。
- (委員) 以前は湊酒田つや姫ハーフマラソン大会と中町のイベントが連携するよう、シャトルバスを出していたと思うが、今回はイベントをドッキングして人を多く集めたりしないのか。
- (会長) 今回のさかたハロウィンまつりは10月9日開催で、湊酒田つや姫ハーフマラソン大会より1週間早い開催だった。みなとオアシスまつりはマラソン大会と同日(10月16日)開催となっている。コロナ渦でドッキングするのは難しいのが現状。湊酒田つや姫ハーフマラソン大会で、そういうイベントをやっているというPRはできると思う。
⇒参加ランナーには、アスリートビブスと一緒にイベント案内チラシを同封し9月末に送付している(みなとオアシスまつり、日和山クラフトフェア、酒田さんぼ等)。

IV 安全安心なスポーツ活動のための環境整備

【委員からの質疑・意見等なし】

(3) その他

・中学校運動部活動の地域移行に係る現状報告について【資料 3-1 から 3-3】

(資料に基づき、事務局説明)

【委員からの質疑・意見等概要】

- (委員) 指導者資格について、バレーやバスケの大会など、参加団体で指導者は資格がないと参加できない縛りがある。スポ少について、認定指導員からスタートコーチに移行の最中だが、暴言暴力の防止徹底を呼び掛けていく必要がある。
⇒スポ少をひとつの受け皿として考えられる部分がある。認定員からスタートコーチも検討していきたい。まずは種目の中での指導員としての確保を考えている。資格をとれば研修がセットでついてくると思うので、各種目ごとのライセンスの中身を確認しつつ、資格を取ってもらう方向性を考えている。
- (委員) 指導したくない教員が半分もいてショックだったが、理由を考えたとき、子どものころに外遊びをしなくなってきた世代なのではないか。スポーツ鬼ごっこ事業で体を動かし、遊びの中から体を動かすことが楽しいと感じ、その楽しさが身につけば、スポーツを試みようかなと、段階を経て意識が変わり、活動につながっていくことが大事だと思う。長い時間がかかるが、意識を変えていかないとうまくいかないと思う。
⇒教師用アンケートについて、p 6 の年代、p 7 の指導したい・したくないで、クロス集計してない。必ずしも若手の先生方が指導したくないかは見えていない。年代と回答内容に関連させた精査が必要だと思う。今後の指導者確保として大事な作業なので、しっかり取り組んでいきたい。
- (委員) アンケートでバドミントンが人気なのは意外と感じた。事務局の方でも意外に感じたことがあれば教えてほしい。現場の中学校の先生方には、部活動の地域移行について、どのくらいのレベルでどの程度の説明をしているのか。子ども達は地域移行についてどう捉えているのか。
⇒アンケート結果より意外に思ったことだが、先生方の中で指導をしてもよいという方がもう少し多いと思っていた。自分が経験してきた種目・指導できる種目の顧問として指導できている先生、希望にかなってない先生は半々くらいだと想定していた。全国的にも統計が出ている。これが指導をしてもよいという方が少ないことと関連しているのではないかと思う。先生方のアンケート p 8、p 9 より、先生方は「働き方改革」が一番にあるが、外部指導者の方は生徒・保護者を心配してくれている傾向がある。子どもを中心においてスポーツの環境を考えなければならないと感じている。先生方への説明について、まだ足りない状況。教育委員会では、校長会には方向性やアンケート結果について説明しているが、まだ先生方には伝わっていない。中学校区の中で関係する地域の方々を集めて検討・支援するにあたって、下半期で学校の先生方に対して説明が必要になると感じる。
- (委員) 外部指導者について、遊佐町・庄内町のスポーツ推進委員会の会長と話す機会があった。遊佐町ではスポーツ推進委員の若い人がかなりの数で部活動の外部指導者に登録しており、土日に部活動の大会が入ってきて、スポーツ推進委員の本来の活動ができなくなってきたという話を聞いた。その辺も考慮いただければと思う。
- (委員) 中学校の現状だが、校長会の中では校区ごとスタートしようというスタンスになっている。子ども達には直接的に話はしていないが、子ども達はどのような形にしろ、自分がやっているスポーツはできると思う。これからも同じような環境を与えたい。なかなか先が見えない中で、まずは自分の学校の形をどうしていくのかを管理職が中心となり検討会などを踏まえ考えていかなければならない。学校のコーチは、保護者とのつながりの中でこの人をお願いしたい、という方もいれば、長年携わって教えてくれている方、その方が若く新しいコーチを紹介してくれることが多い。これまでスポーツをやってきて、資

格を持って専門的な指導できるという補償があつてということではなく、本当に善意に支えられながら活動できていると思う。指導者育成研修・資格を考えると、やはり謝金が必要だと思う。

- (会長) 中心になるのは子ども達。子ども達がどういうことを学びたいのかが重要になる。地域に聞くよりも先に、外部指導者を実際にやっている人の意見を聞いた方が良いと思う。
 - (委員) 酒田市総合計画について以前話題になったが、パブリックコメントが終わって、今どのような状況なのか。
- ⇒酒田市総合計画(長期計画)についてですが、酒田市総合計画は酒田市における最上位計画である。10年間の計画のうち5年が過ぎようとしており、残りの5年について後期計画として今年度見直しをかけている。現在はパブリックコメントの最中で、12月議会上程の予定である。

4. その他

【報告事項】

- ・令和4年度酒田市体育施設整備懇談会の開催状況等について【資料4】
(資料に基づき、事務局説明)
- 【委員からの質疑・意見等なし】

5. 閉 会(略)

以上